

ふらっとレポート

小平市議会議員安竹洋平の
最近の主な活動をお知らせします。



令和5年
春号



■ 特集：市議会議員とはなんぞや

よくある誤解

■ 安竹の4年間ハイライト

■ タクシー通学の調査報告と提案

羽村市の特別支援学級タクシー通学事業を調査しました

■ 3月市議会定例会トピックス

■ 小平市の課題

「日本人はもっと豊かに暮らせるはず」、「子どもも大人も夢を描けるまちにしたい」という思いから4年前に立候補。議員に選んでいただき全力で走り続けました。この4年間の総集編としてお知らせします。

小平市議会議員

小平市議会まとめ 🔍

安竹の主張まとめ 🔍

ディスレクシアまとめ 🔍

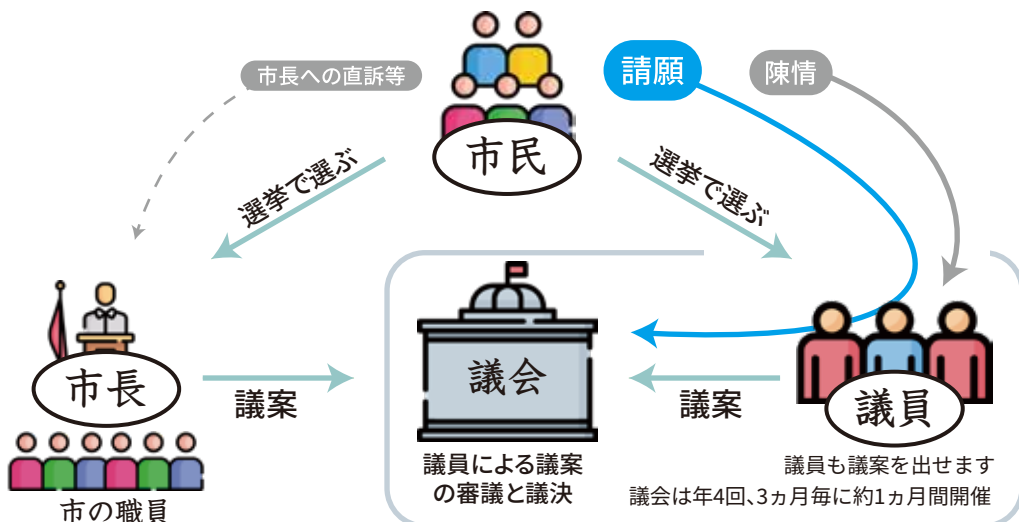
安竹 洋平

このレポート内容について
より詳しくはこちらへ



市議会議員とはなんぞや

小平市議会のような地方議会は、国政とは異なる二代表制を採用しています。市民の代表として「市長」と「議員」の二者を選び、対峙させてバランスをとるという発想です。ただし行政を担う市長の権限は議員よりも強いものとなっています。



☒ 議員の主な仕事は、議案の審議と議決

条例や予算など市に大きな影響を与える計画は、議会で議決を経なければ執行できません。そのため、市長（もしくは議員）はまず計画を議案として議会に提出します。議員はその議案を調査し、議会や委員会において市長や部課長に対して質疑（質問し答弁を得る）を行い、精査します。そして各議員はその結果を総合的に勘案して議案に対する賛否を決めます。議案は議員の過半数の賛成を得て可決しなければ執行できません。このような仕組みにより、行政のバランスを保つ（ことをめざしている）という構図です。

しかし小平市を含めて多くの自治体において、この仕組みは機能不全に陥っています。議員が政党のしがらみに囚われたり、議員と市長に利益のつながりがあることなどから中立・独立の立場での判断ができなくなっているのです。また、議員の質問の「質」の問題もあります。質問回数については私たち一人会派の会の議員が群を抜いています。ほかの議員は、本会議での質問回数が0回で、委員会ではしか質問しないことも多いです。

市の条例や予算は市民生活に直結しますので、毎回全力で向き合っています。

一般質問で問題を洗い出し、矛盾を突き、改善提案する

小平市議会では、年4回ある議会開催中に、議案の審議とは別に、議員の好きなテーマで市に対して1時間の質疑ができる「一般質問」の機会があります。この質疑は会議録に残るため、市は一応それらしい答弁をします（ひどい答弁をする部署もあります）。市の問題を洗い出し、矛盾を突き、改善提案や、心に訴える演説を行います。議員の腕の見せ所です。

市に大きな動きを求める際は請願がおすすめ

市にやってもらいたいことがあり、窓口での相談ではすぐに解決しないような場合、①市長に直接依頼する、②請願を出す、③議員に議会で訴えてもらう（一般質問、議員提出議案、意見書、陳情）といった方法があります（ただし陳情は小平市議会では各議員に配られるだけです）。②の請願は筆頭紹介議員が1名必要ですが、署名集めをすれば周知が行えることもあり、市に大きな動きを求める際にはおすすめの手法です。安竹はこの4年間で3件の請願について筆頭紹介議員をさせていただき、すべて採択され実施もされました。

よくある誤解

×政党所属の議員は力がある → ○政党が地方議員の力を奪う

政党は国政のためにあるもので、二代表制の地方議会には不要です。議案への賛否結果をご覧くださいと分かりますが、政党に所属すると自分の意思ではなく党の意思に従って賛否を表明する必要があります。自分の意思に基づく主張や活動ができないことは、政治家として致命的だと思います。実は私も議員になるまではっきり分かりませんでした。選挙で勝つために政党に入り、気が付かないうちに「国政のためにつくられた仕組み」に取り込まれてしまい、高い志を持っていたのに発揮できず、苦しい思いをする議員が跡を絶ちません。**政党の市政への介入は、市民にとっても市議にとってもよくありません。**

×政党に入って国や都との関係を築く → ○そんな甘い話はない

私は4年間さまざま活動し、政党に所属する議員の活動も見てきました。しかし「政党に入れば国や都に声が届きやすくなる」という言葉に真実を感じたことは一度もありません。**そんなうまい話があるなら政治家になる必要はないのでは**と感じます。政党に入らなくとも、筋が通っていれば、国や都には賛同してくれる議員や首長がいるものです。

小平市議・安竹洋平の4年間ハイライト

令和元年に議員に選んでいただいてから4年間走り続けました。通常の議案審議とは別に、皆様からご相談を受けて行ってきた活動の一端をお知らせします。

記録更新が続く合気公園整備

上水南町・旧佐川邸の公園整備について、筆頭紹介議員を務めた請願が採択され、市が画期的な取組みをしてくれました。ふさと納税で1,600万円以上の新記録を打ち立て、歳入は約4千万円増に。市民と市の協働も大きく前進し、モデルケースに。



J:COM でも放映されました。皆様のおかげです。ありがとうございます。

03



04



ご署名ありがとうございました！

自閉症・情緒障害特別支援学級

情緒固定級の請願→開級へ

筆頭紹介議員を務めた請願が採択され、市がすぐに検討を開始。来年4月に四小での開級（定員8名×2クラス予定）が決定。再来年の4月には二中にも。引き続き、理想的開級に向けて、通学バス・タクシー等についても調査・提案中。

回田町の開発

条例違反や条例の運用不備を議会で追求、改善提案。

スタート
令和元年
市議に

02

01

ご支援下さった皆様、ありがとうございます。

発達性読み書き障害 ディスレクシア

見た目では分からないこの困難について理解や周知が進んでおらず教育環境に大きな課題があることを議会で追求。保護者の働きかけから市の重点事業に。周知目的の議員レポートも市内全域に配布。





ほかにも▼キャッシュレスポイント還元事業が予算超過し教育費の確保分約8千万円を流用した問題▼学童クラブの消費税過払いと未返還をめぐり問題▼ワクチン副反応による健康被害救済制度の申請を市が抑制していた問題▼公益性に欠陥があり決済毎に手数料分が市外流出するQRコード決済を市が推進している問題など、さまざま追求してきました。また、蓄電池業界にいた経験から「脱炭素化の虚実」も指摘し続けています。

08

東京サレジオ学園北側売却地の大規模開発

大規模開発をめぐり市の条例や運用上の不備がまた明らかに。議会で指摘し改善提案しました。現在は住民の方々の働きかけにより、理想に近い形で周辺住民と事業者の話し合いが進んでいます。



いじめ重大事態

いじめ被害者と多くの関係者のために法整備された重大事態の扱い。市が真摯に向き合ってこなかったことから毎回大きな問題が発生しています。議会で訴え続け、**市のいじめ基本方針が改訂**に。周知は一步前進。次は問題山積の運用改善です。



07

マスク・黙食の請願 全会一致採択

採択困難とも言われた請願の筆頭紹介議員を務め、全会一致で採択に。国の方針よりも強い制限が課される中で苦しむ子ども達の声が届きました。請願事項は満たされたものの課題は残ったままです。



ご署名ありがとうございました！

05

放デイ決議→補助金支給

報酬改定で影響を受ける放課後等デイサービス等に支援を求める決議を代表議員として提出。全会一致で可決し、その9ヵ月後の昨年12月に、**この決議等に基づき市が約2,400万円の補助金支給を決定**しました。

06

特別支援学級の通学支援

✓ 羽村市のタクシー通学事業を調査し、報告と提案をしました

現在小平市では知的固定級において原則小学校1年生から小学校3年生までが利用できる通学バス事業が行われています。さらに小学校6年生までが原則で利用可能となることが理想ですが、市は財政上の理由等から困難としています。これから小平第四小学校(令和6年4月)と小平第二中学校(令和7年4月)に開級する予定の情緒固定級でも、当面は市内1校ずつだけです。通学バス運行などの通学支援をしてもらうことが理想です。

小平市の通学バス事業にかかっている費用は現在1人当たり年間約90万円です。一方、羽村市ではタクシー通学事業が行われており、年間1人当たり約28万円で済んでいます。そこで、まんまる会(下記ご参照)と共に、羽村市のタクシー通学事業について調査しました。その結果を小平市の教育委員会に報告し、小平市でもタクシー通学の試行運用をしてもらうように提案しました(今年3月)。

羽村市タクシー通学
約28万円*



- ・乗車時間が短い
- ・空間に余裕がある
- ・便の増減が容易
- ・固定費が抑えられる

清瀬市 小平市
約36万円* 約90万円*



*児童1人・1年当たり

✓ 清瀬市のバス通学事業についても調査予定です

清瀬市も小平市と同様なバス通学事業を行っており、予算は36万円程度で済んでいます。清瀬市は直営で行っているため小平市より安いのかもかもしれません。今後調査予定です。私は現状でも小平市に通学バス拡充の財源はある(無駄なことに使っているお金が多い)と捉えていますが、清瀬市を参考に費用を抑えられれば、拡充の可能性は上がります。



まんまる会は、お子さんが情緒固定級の利用を
考えられている方なら誰でも参加できる保護者の会です
<https://misaki2893.wixsite.com/manmaru1>



3月定例会でのトピックス

いじめ重大事態の運用について一般質問

昨年はいじめ重大事態の取り扱いについて一般質問で3度にわたり問題を指摘してきました。市教委(小平市教育委員会)は事実に反する答弁や不誠実な答弁を続けました。しかしその後すぐに、すべての市立学校ホームページに、重大事態について必要な情報が掲載されました。また昨年末には小平市いじめ防止基本方針が改訂され、一般質問で指摘した通りの内容が含まれました。これで周知(する方針)に関しては一気に先進市レベルになりましたので、続いて3月定例会で運用の問題を追求しました。ここは市教委の「隠ぺい体質」が疑われる部分であり難しいところです。今回は①被害者本人や家族とのコミュニケーションを大切にすること、②調査を担う第三者委員会(いじめ問題対策委員会)の透明性を徹底的に高めること、③利害関係が疑われる人を委員に含めないこと、そして④教員によるいじめ行為・いじめ誘発行為の状況などを指摘・確認しました。今回の答弁を参考に深掘りしていきます。きちんと対応すれば、市教委も学校も、隠ぺいとは無関係の、多くの関係者の心の落ち着きが得られる世界が見えてくるはずです。尽力します。

行政不服審査会の役員は、なんと市の顧問弁護士だった…(利益相反)

いじめに関する情報開示を請求していたところ、まったく理不尽な理由から開示期限の延長(本来、請求翌日から14日以内に開示されるところ、それが延長)となる事例がありました。その関連で市の行政不服審査会を調べたところ、なんと市の顧問弁護士2名が、行政不服審査会のそれぞれ委員長と副委員長を務めていたことに気づきました。行政不服審査会は「**市民からの訴えを受けて、市の行いを正すべき委員会**」のはずです。小平市を弁護するために市から給料をもらっている顧問弁護士がその役員を務めることは明らかに市民のためになりません。弁護士としてもやってはならない利益相反なのではという声があります。委員名簿が積極的に公開されていないため誰にも気づかれずに平成17年から続いてきたようです。一般質問と予算委員会で指摘しました。改善の方向で検討するといった趣旨の答弁は得られましたが、そのまま予算が通ることは許容できません。

また、保育園用地の売却に絡んでも、**市の財産を不当に安く売却している**と見なせる(そのために要綱も直前に改定している)状況があり、これも大問題です。

以上の理由などから予算案に反対しています。

小平市の課題は…たくさんあります

市の職員よ、 ともにまちに出よう！

AI時代こそ現場のコミュニケーションを。

情報公開の徹底/庁内連携推進/内
部統制の試行推進/理想の情緒固定
級へ/いじめ重大事態運用改善/保育
施設との連携強化/高齢者福祉環境
の改善/職員の働きがい向上などなど…

ご相談事に全力投球！

略歴



私立明星学園小・中学校

父と兄の3人家族で育つ。

東京都立西高等学校

柔道部/生物部/宇宙研究部/物理部。父の事業がバブル崩壊の波にのまれて苦難の時期。

東京工業大学 理学部 物理学科・大学院 理工学研究科修了

学費免除をいただき、アルバイトをかねもちして多くの方に助けていただきながら進学。
研究は半導体超格子系のラマン散乱。

ソニー株式会社

コンサル系、SAP APOマクロ作成。

蓄電池ベンチャー企業(ACT)

蓄電池デバイス(LIC)の研究・開発と営業。

2008年宇宙飛行士ファイナリスト

国際規格コンビナー(TC40 IEC62813)

LICの性能測定方法を確立。業界団体代表として
IECに派遣していただき国際規格化に尽力。

英語の会主催

日本人の英語力向上を地域から目指して4年間主催。

ソフトウェアエンジニア

議員としてはQGISで小平市の情報地図作成や
情報共有ツールMattermostの全国規模運用など。

令和元年 小平市議会議員に(1期目)

元・公聴広報特別委員会副委員長/元・厚生委員会委員
現・議会運営委員会委員/現・環境建設委員会委員



小平市議会議員 無所属・一人会派の会

安竹 洋平 (45)

趣味

旅行/自転車/アウトドア/プログラミング/ものづくり/読書(小説ならドストエフスキー)/映画(『アンダーグラウンド』、『きっと、うまくいく』、コメディ、B級映画全般)/弓道/乗馬/英語/中国語(『喜羊羊と灰太狼』で勉強中)/書写(見習い)/3Dブルーベール開発

妻は三中吹奏楽部出身の音楽家。子は4才と1才。毎日愉快地子育て中！

